

# 森林バイオマス燃焼による排出の影響

メアリー・ブース博士 (Mary S. Booth, PhD)  
Partnership for Policy Integrityディレクター  
2020年12月





## Partnership for Policy Integrity (政策の完全性に向けたパートナーシップ)

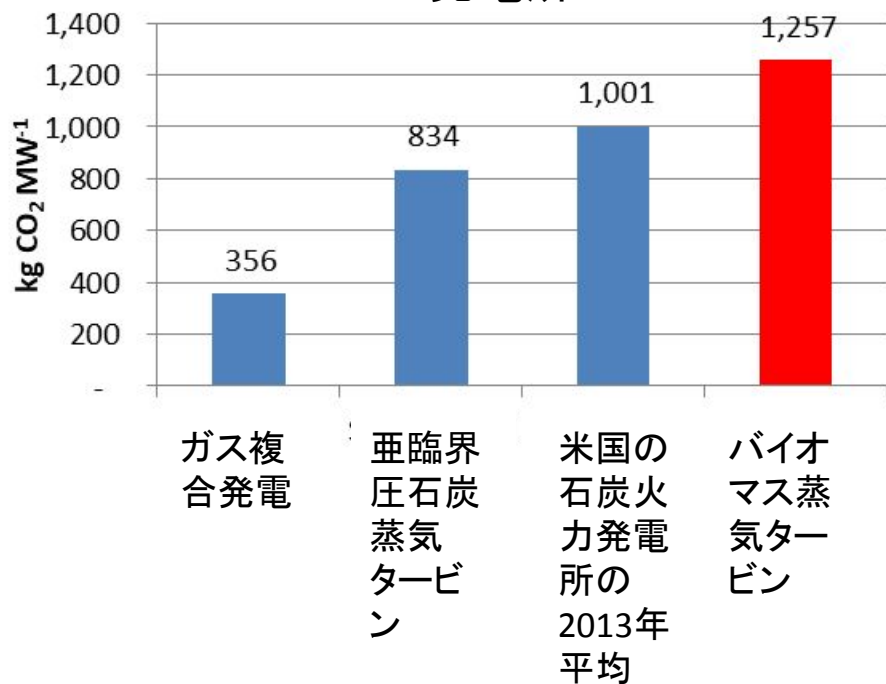
ディレクター、メアリー・ブース博士  
生態系科学者としての教育を受ける  
2010年にPFPIを設立、バイオマスエネルギーの影響に取り組む

森林、気候、大気質へのバイオマスの影響に関する情報は、  
PFPIウェブサイトをご覧ください：[www.pfpi.net](http://www.pfpi.net)

森林バイオマスを「ゼロカーボン」と見なしていることに関する  
EUに対する訴訟：[www.eubiomasscase.org](http://www.eubiomasscase.org)

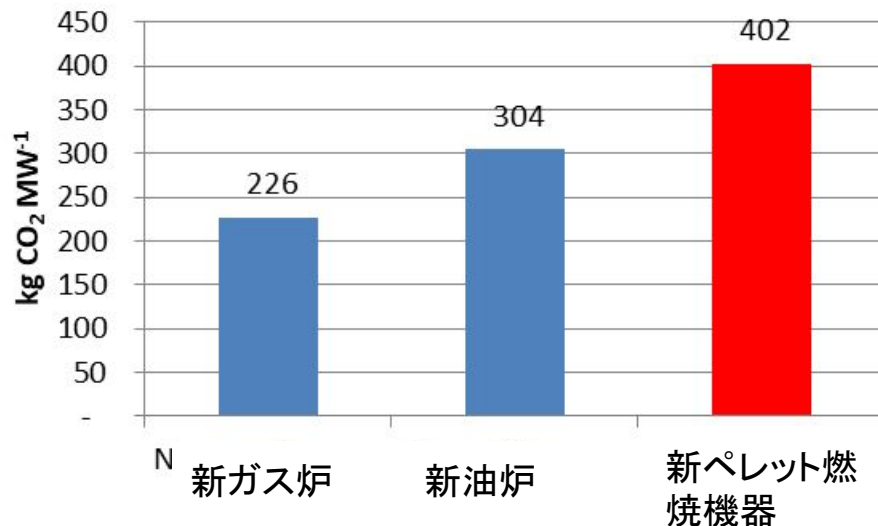
# 木質バイオマス火力発電および加熱装置は、化石燃料の火力よりも単位エネルギー出力あたりのCO2排出量が多い

## 発電所

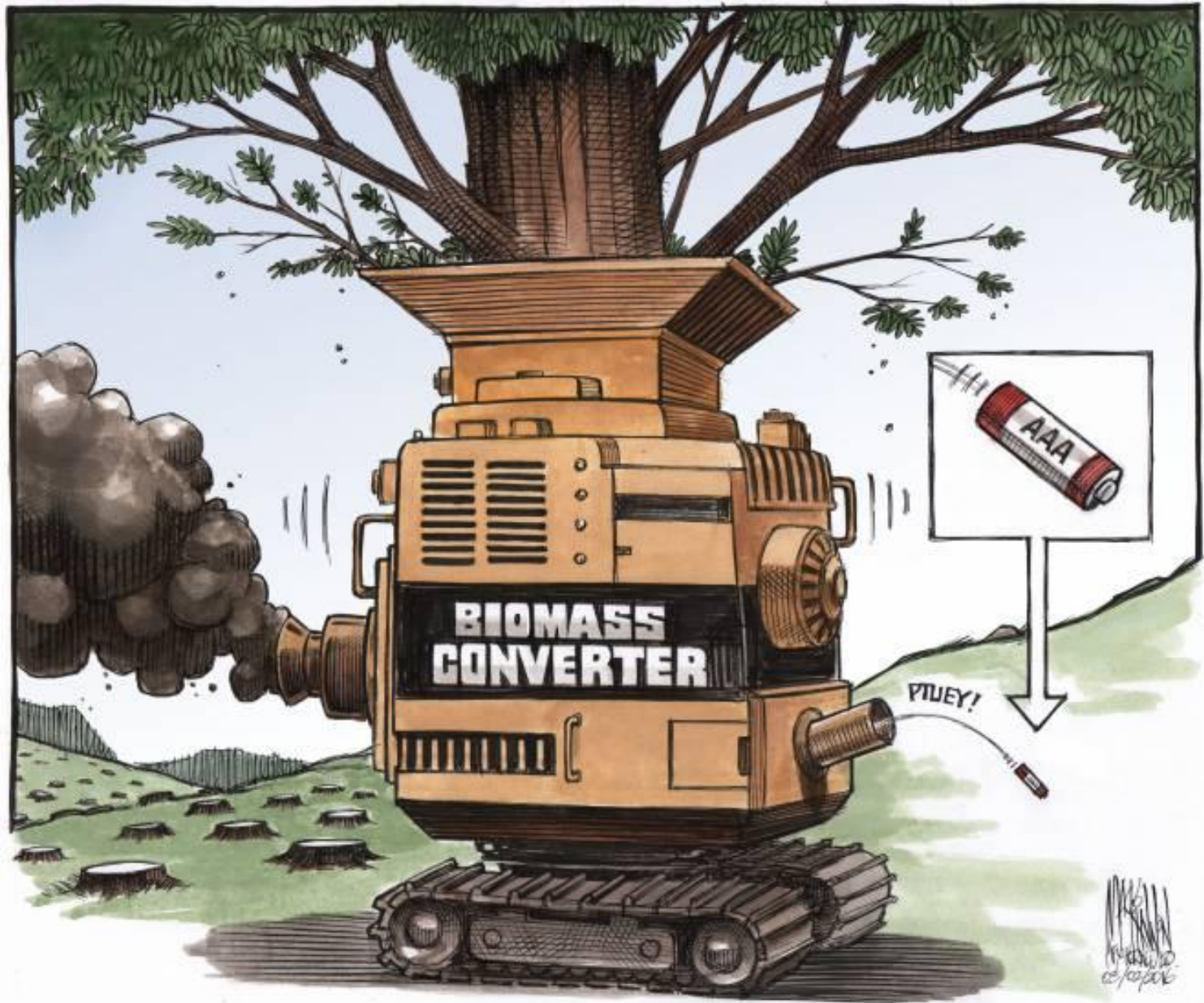


燃料として生の木質チップを燃やす木材ボイラーと発電所の結果。生チップは重量の～約50%が水分であるため非効率。一定量のエネルギーを生成するには、より多くの燃料を燃やす必要がある。

## 熱用ボイラー



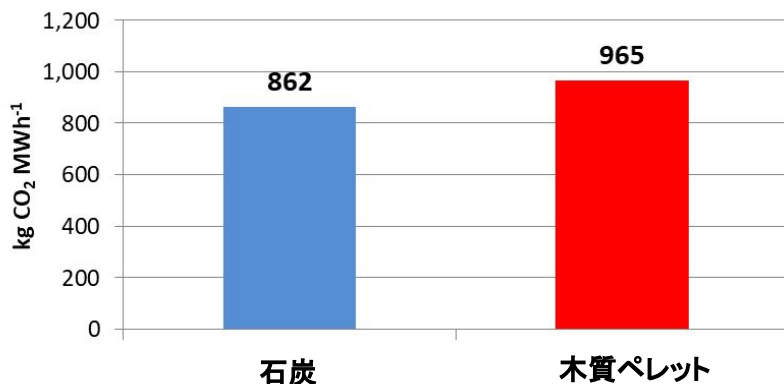
# バイオマス発電は非常に非効率！



# 産業界のデータからみても、木質ペレットは石炭よりもMWhあたりのCO2排出量が多い

木質ペレットは乾燥しており、生チップよりも効率的に燃焼されるが、生産と輸送に多くのエネルギーを費やす。

2013年CO2排出量 (トン)	バイオマス燃焼による 実際のCO2排出量 Actual CO <sub>2</sub> (t calculated)	EU取引制度に基づき計 上されるCO2排出量 EUETS CO <sub>2</sub> (t calculated)
石炭と石油コークス	20,089,607	20,089,607
バイオマス	2,799,391	0



Drax generation		2013	
石炭	TWh	23.3	88%
バイオマス	TWh	2.9	12%

# CO<sub>2</sub>を排出するにもかかわらず、バイオマス燃焼は炭素中立として扱われる。なぜなのか？

発電、加熱、冷却における固体および気体のバイオマス源の使用に関する持続可能性要件に関する

## 評議会および欧州議会への委員会報告

SEC(2010)65最終版  
SEC(2010)66最終版

固体および気体のバイオマスに関しては、使用中の燃料からの排出量 $e_u$ はゼロとみなされる。

燃料にするために収穫された森林が元どおり成長するまで数十年はかかることがわかっているのに、なぜ政策はバイオマス燃焼から生じるCO<sub>2</sub>を無視するのか？

## 「土地セクターにおいて計上されています」

IPCCは、バイオマス収穫による森林炭素の損失を土地利用セクターにおいて計上している。このためエネルギーセクターにおいては、二重計上を避けるためにバイオマス由来のCO<sub>2</sub>をゼロとして計上している。

ただし、IPCCは次のように警告している。「エネルギーセクターの合計にバイオエネルギー排出量を含めないというIPCCのアプローチは、**バイオエネルギーの持続可能性または炭素中立（カーボンニュートラル）に関する結論として解釈されるべきではない。**」

(<http://www.ipcc-nggip.iges.or.jp/faq/faq.html>)

# 「廃材と残材だけです」

林業残材は、腐敗した場合は炭素をゆっくりと放出する一方で、燃焼された場合は即座に炭素を放出する。

残材からの「累積正味排出量」＝一定期間(例えば10年間)にわたり煙突から排出されたCO<sub>2</sub>－腐敗によって排出されたであろうCO<sub>2</sub>

煙突排出量に対する累積正味排出量の比率＝排出の正味影響(Net Emissions Impact: NEI)



Photo: Dogwood Alliance



# 「カナダの木質ペレットは製材残材で作られています」 そんなことはありません



写真 : Pinnacle Meadowbank (左上); パシフィックバイオエナジー(その他)

将来的に木質ペレットにされてしまう内陸の雨林  
(ブリティッシュコロンビア)



CONSERVATION  
NORTH

ペレット生産用に伐採が予定されているエリア

# 将来的に木質ペレットにされてしまう内陸の雨林 (ブリティッシュコロンビア)



CONSERVATION  
NORTH

ペレット生産用に伐採が予定されているエリア

## 「バイオマスは持続可能な形で 伐採されています」

“持続可能な”伐採(収穫)とは、伐採が行われる地域・国で、伐採された量よりも多くの木々が育てられていることである。ただし、木材による大気への影響が正味ゼロという意味ではない。

# 米国ノースカロライナ: 木質ペレットの原料として 伐採された湿地林 – 「持続可能」とされている

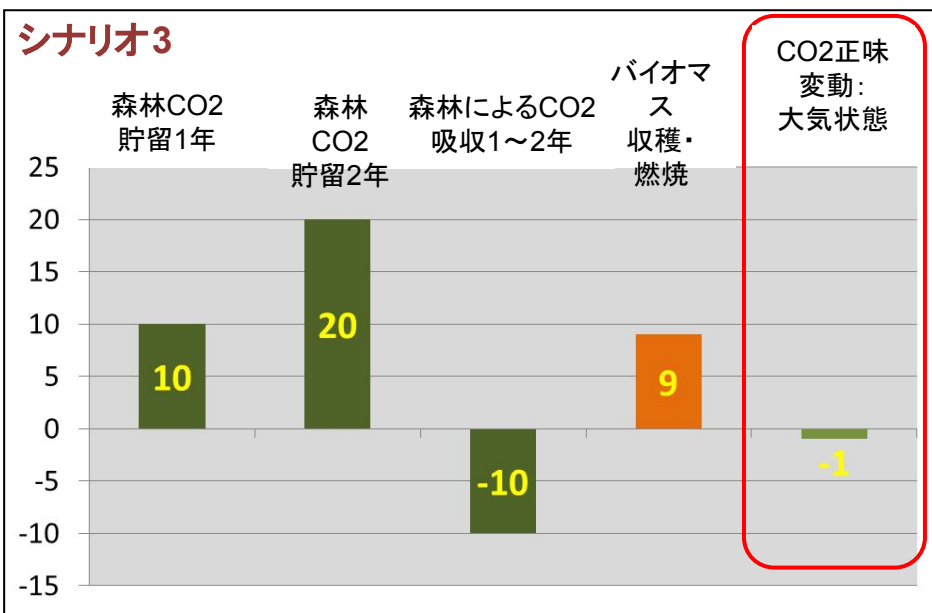
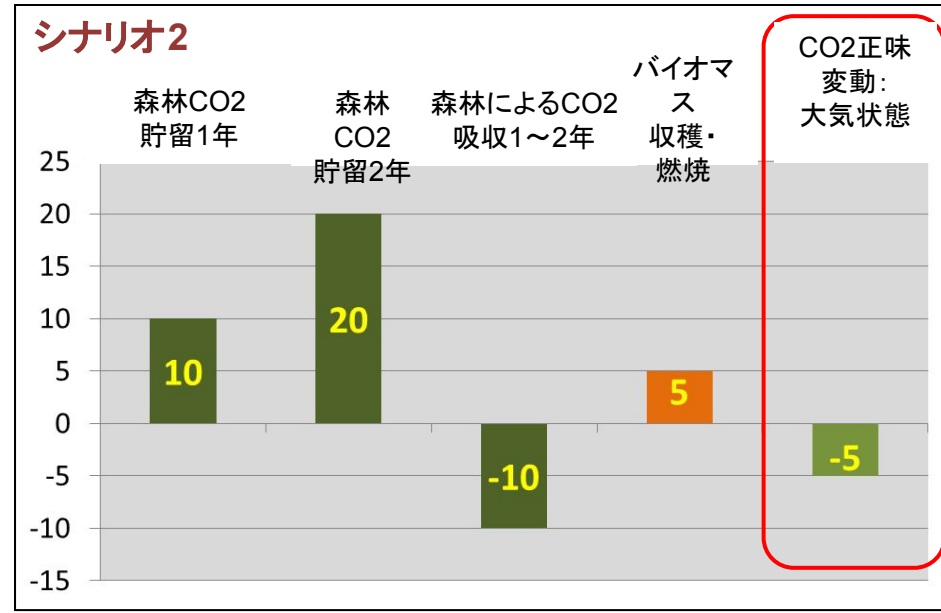
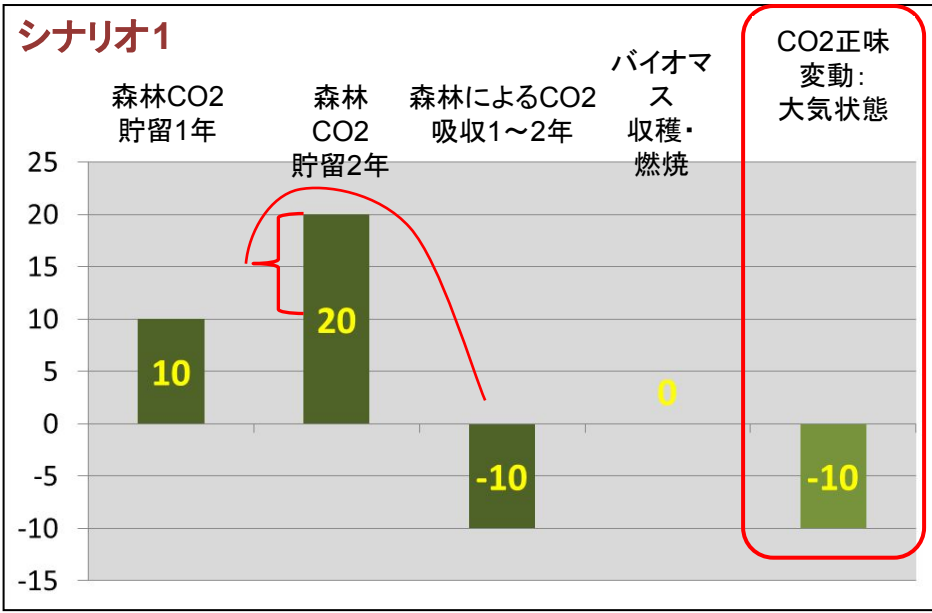


写真: Marlboro Productions

# エストニアの「持続可能」な木材ペレットのための伐採



# “持続可能な形で収穫された”バイオマスでも大気中のCO<sub>2</sub>レベルに影響する



**CO<sub>2</sub>正味変動は、森林によるCO<sub>2</sub>吸収+バイオマス収穫**

**シナリオ1**: 森林は10単位成長、バイオマス収穫は0、大気から除去した正味量は10単位。

**シナリオ2**: 森林は10単位成長、バイオマス収穫・燃焼は5単位、大気から除去した正味量は5単位。

**シナリオ3**: 森林は10単位成長、バイオマス収穫は9単位、大気から除去した正味量は1単位。

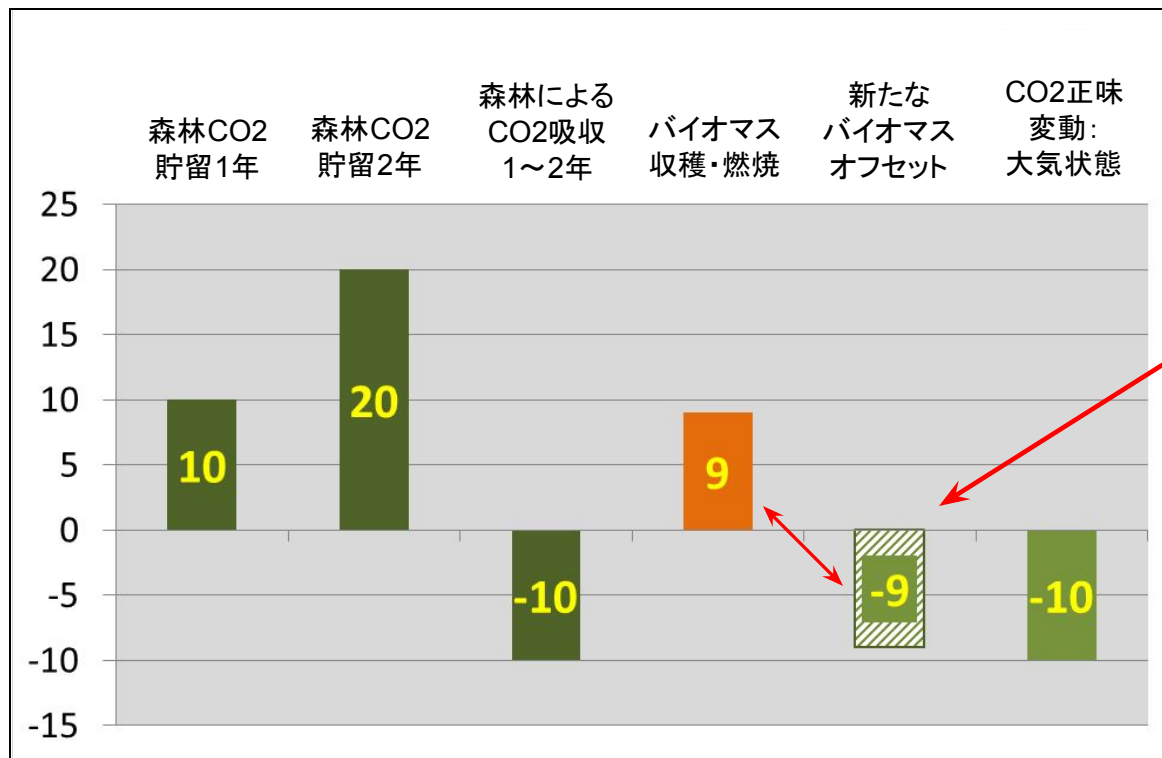
これらのシナリオはすべて“持続可能”(成長量が収穫量を超える)だが、大気中のCO<sub>2</sub>負荷に関しては異なる影響を及ぼす。

# バイオエネルギーのオフセット(埋め合わせ)は追加であるべき

## 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)

「バイオエネルギーの生産が排出量の純減をもたらすことは、生物相および土壌の**炭素純吸入量の増加**を通じて排出量を埋め合わせることによって達成される必要がある。」

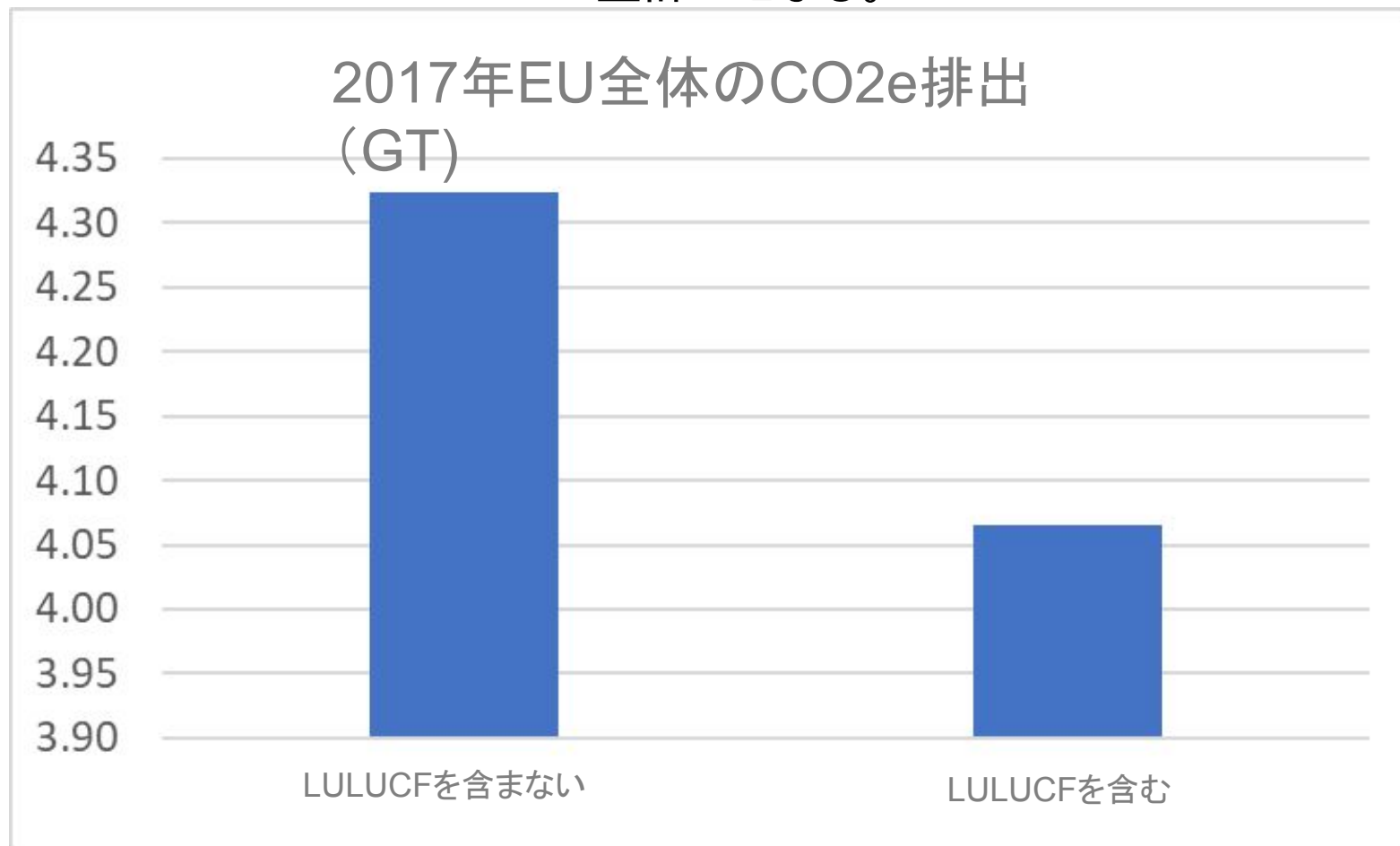
IPCC AR5 WG III 11.13.4 GHG emission estimates of bioenergy production systems, 2014  
([https://www.ipcc.ch/site/assets/uploads/2018/02/ipcc\\_wg3\\_ar5\\_full.pdf](https://www.ipcc.ch/site/assets/uploads/2018/02/ipcc_wg3_ar5_full.pdf) p. 877)



この例は、真の炭素中立の達成に向けてバイオエネルギーからの排出量を埋め合わせるには何が必要かを示している。それは、バイオエネルギーからの排出量と同じ量を**追加の**炭素吸収によって埋め合わせることである。しかし、これは現実には起こっていることとは異なる。



森林による炭素隔離(「土地利用、土地利用変化及び林業部門(LULUCF)」セクターにおける吸収)は、化石燃料の排出量の一部を埋め合わせているとすでに認められているため、バイオエネルギーの排出を埋め合わせるために“割り当てる”ことは二重計上となる。



# 「樹木は成長して元に戻ります」

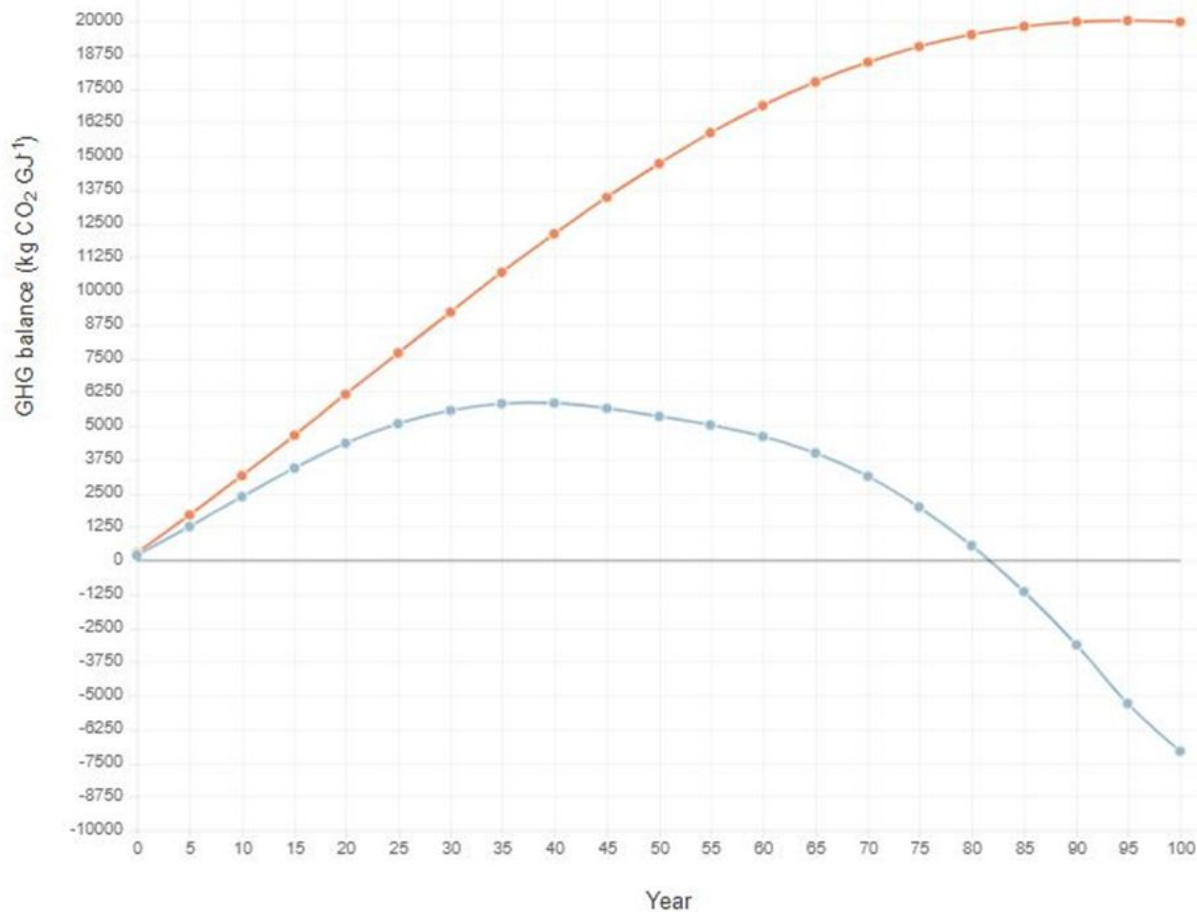
しかし、木が再び生長するには数十年から数世紀もかかる！ 累積正味排出量は、何十年も石炭と同等にすらならない。



Photo Dogwood Alliance

# 木材燃焼によるCO<sub>2</sub>正味排出量は、数十年間にわたり石炭の排出量を超える。

(カナダ森林局のインタラクティブ・オンラインモデル)



- 最良のシナリオ
- 最悪のシナリオ

(石炭の代わりに)発電に利用される地元市場向け生木:表  
正の値は正味CO<sub>2</sub>源を表し、負の値は大気への正味利益を表す。

# 欠陥がある炭素会計...

Rhymes with  
**orange**

by Hilary Price | About

[CK Sign In](#) | [Register](#)

Thursday, April 22nd 2010



[Give us Feedback](#)

## 時々、天然林が松の単一植林で“森林回復”する

6-3-2011

川のそばに広がる広葉樹林(ノースカロライナ州)



4-6-2013

皆伐直後



3-4-2018

松植林に取って代わられた



伐採から5、6年後、大量の炭素を貯留し、豊かな生物多様性を育んでいた広葉樹林の3分の2が、炭素貯留量がより少なく、生息地もさほど提供しない松の単一栽培に置き換えられた。植えられていない部分は未だほぼ再生されていない。

# バイオマス政策に関するアドバイス

バイオエネルギーへの助成を続けないでください。排出量削減の役には立ちません！

助成する場合は、科学者のアドバイスに従い、生物起源の排出を計上してください。正味排出量が非常に低いバイオマスのみを助成してください。

また、イギリスの新政策\*の例に従い、以下のみを助成してください。

1. ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量が化石燃料と比べて非常に少ない燃料（イギリスの新しい基準29 kg CO<sub>2</sub>/ MWhは、前基準200 kg CO<sub>2</sub>/ MWhのわずか14.5%）
2. 少なくとも効率70%以上の熱電併給のバイオマス施設

\* <http://www.pfpi.net/new-uk-biomass-policy-removes-subsidies-for-high-carbon-wood-pellets>

ご質問はEメールにて以下  
ま  
で

Mary S. Booth

mbooth@pfpi.net Websites:

[www.pfpi.net](http://www.pfpi.net)

[www.eubiomasscase.org](http://www.eubiomasscase.org)

ビデオ : 『Burned: Are Trees  
the New Coal?』

[https://www.linktv.org/shows/b](https://www.linktv.org/shows/burned-are-trees-the-new-coal)

urned-are-trees-the-new-coal

